

第6部 地域別計画

第1章 計画策定の趣旨

第2章 地域別計画

第1章 計画策定の趣旨

本市は、駅前の都市的な地域から、豊かな自然環境を持つ地域まで、多様な個性を持った地域によって構成されています。

地域ごとの個性を活かし、より豊かで潤いのある市民生活を確保していくためには、行政だけではなく、市民自らが地域のあり方やそこでの暮らし方を考え、実践し、地域環境を育んでいくことが重要です。

こうした観点から、ゾーニング計画との関連を踏まえつつ、市民のより身近な地域における主体的なまちづくりの指針として地域別計画を定め、地域の個性や魅力を活かした地域づくりを推進していくとともに、これを支える地域コミュニティを育み、活性化を図ることにより、市民主体の魅力あふれる地域づくりをめざします。

1. 地域の設定

計画の地域区分は、八千代市コミュニティ推進計画におけるコミュニティ区域と同様、阿蘇地域、村上地域、睦地域、大和田地域、高津・緑が丘地域、八千代台地域、勝田台地域の7つを基本とします。

2. 計画の構成

(1) 地域の特性と課題

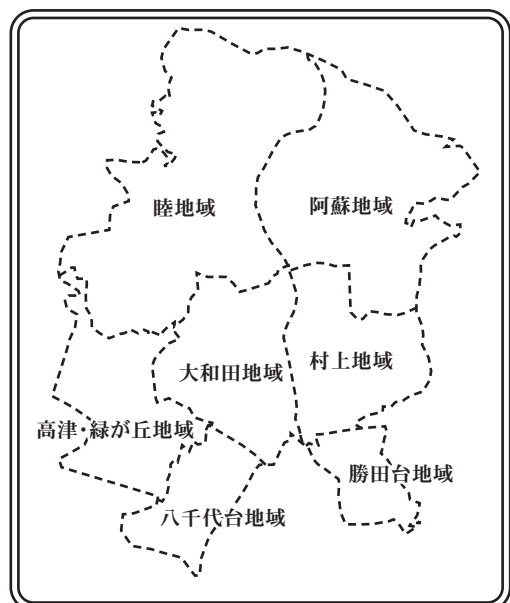
地域の位置、土地利用、人口等地域の特徴および地域の抱える課題を記載

(2) 地域づくりの方針

地域のまちづくりについて、中長期的な視点に立った基本的な方針を記載

(3) 主な事業

地域のまちづくりを進めるうえで、平成23年度から平成27年度までに計画されている主な事業を記載



第2章 地域別計画

1. 阿蘇地域

(1) 地域の特性と課題

本地域は市の北東部、新川の東側に位置しており、自然環境保全ゾーンの中にあります。

地域の東側には高野川が流れ、新川、高野川周辺は優良な水田地帯が広がっており、水田に囲まれるような台地には里山が広がるなど、緑豊かな自然環境に恵まれた地域です。

水田の周辺や主要地方道千葉・竜ヶ崎線沿いには古くから集落が形成されています。地域の西側を通る国道16号沿いには米本団地があり、北部の大学周辺にも八千代カルチャータウンとして新たな住宅地が形成されています。昭和45年に入居が開始された米本団地は、「UR賃貸住宅ストック再生・再編方針」により、団地再生による集約化の対象となっています。

また、県内3番目の道の駅として登録された八千代ふるさとステーションは、市内の農産物や農産加工品の展示即売を通じて、農業経営者と都市住民のふれあいの場を創出しています。

地域の総人口は、減少傾向にあり、地域住民の年齢構成としては、生産年齢人口の割合が少なく、老年人口の割合が多い状況にあります。

本地域は、新川や高野川沿いに広がる水田地帯や斜面緑地などの豊かな自然環境の維持・保全に努め、こうした自然に囲まれている集落地においては身近な生活道路をはじめとする生活基盤の充実を図っていく必要があります。

(2) 地域づくりの方針

恵まれた自然・田園環境の維持・保全に努めていくことを基本に、農業の振興と農地の保全・活用を図るとともに、八千代ふるさとステーションについては、新川対岸の睦地域に整備されるやちよふれあいの農業の郷と一体的に、市民の交流のできる施設として充実させるとともに、観光の拠点、雇用の場として地域の活性化を図ります。

また、集落地における生活利便性の向上や市街地における住環境の維持・保全を図るなど、良好な自然環境と住環境が調和した地域づくりを進めます。

■ 主な事業

2章

小中学校校舎耐震改修事業

3章

準用河川高野川改修事業 / 東消防署移転・改築事業

5章

北部地域生活支援バス運行事業 / 米本浄水場施設改良事業

6章

やちよふれあいの農業の郷整備事業

【地域の概要】

地域の範囲	米本、神野、保品、下高野、 上高野の一部、堀の内、米本団地	
面積	11.1 km ²	
人口 (平成21年度末)	10,763 人	
将来人口 (平成27年度末)	10,300 人	
世帯数 (平成21年度末)	4,866 世帯	
将来世帯数 (平成27年度末)	4,900 世帯	
主な道路	国道16号、主要地方道千葉・竜ヶ崎線、県道八千代・宗像線	
公園・主な緑地	街区公園(7か所)、緑地(3か所)	
主な施設	<p>[市役所・消防・警察]: 米本支所、東消防署、米本交番</p> <p>[教育・文化施設]: 少年自然の家、阿蘇公民館</p> <p>[福祉施設]: 保育園(2園)、ふれあいプラザ、児童発達支援センター、阿蘇地域包括支援センター、第1福祉作業所、第2福祉作業所、はばたき職業センター、グリーンヒル、八千代城</p> <p>[学校施設]: 幼稚園(2園)、小学校(3校)、中学校(1校)、大学(1校)</p> <p>[その他の施設]: 八千代ふるさとステーション、米本浄水場、北部中継ポンプ場</p>	
特色ある地域資源	<p>ほたるの里、乳(ちっこ)清水、米本城跡、米本長福寺(戒壇石、伝・村上綱清の墓石、板碑一式)、米本稻荷神社本殿、すわり地蔵、下総式板碑、天保七年米本村絵図、上高野の辻切り、保品の戸長役場看板、新川・高野川周辺の水辺空間</p>	

2. 村上地域

(1) 地域の特性と課題

本地域は市の東部、新市街地ゾーンの東側に位置しています。

地域の北部は新川周辺の水田や斜面緑地があり、台地には八千代の名産である梨の畑が広がるなど、恵まれた自然環境があります。

地域の中央部には中高層集合住宅地の村上団地があります。この村上団地も、米本団地同様、「UR賃貸住宅ストック再生・再編方針」により、団地再生による集約化の対象となっています。

また、緩衝緑地帯である村上緑地公園を挟んで上高野工業団地が広がっています。

地域の南部には東葉高速線の村上駅、東葉勝田台駅と京成本線の勝田台駅があり、交通利便性が高いことから住宅地が広がっており、村上駅の周辺では土地区画整理事業が完了し、良好な市街地が形成されています。

地域の西側を国道16号が南北に縦断し、南側を国道296号が東西に横断しており、国道16号沿いには大規模店舗が進出しています。

地域の総人口は、今後も増加傾向にあり、地域住民の年齢構成としては、生産年齢人口の割合が多く、老年人口の割合が少ない状況にあります。

また、地域内の村上団地は、日系外国人などが多く居住しており、地域住民との交流やコミュニケーションの支援が重要な課題となっています。

そのほか、勝田台駅北側周辺における渋滞等の交通環境の悪化への対応や、新川周辺の水田地帯や斜面緑地などの自然環境の保全も必要です。

(2) 地域づくりの方針

勝田台駅北側周辺における安全で快適な交通に対応した道路や駅前広場の整備を推進し、県立八千代広域公園の整備を促進するなど、市民の文化・スポーツ活動の中核となる施設の充実を図ります。

また、村上団地内に新たに設置した八千代市多文化交流センターの活用により、在住外国人との交流を進めます。

そのほか、地域に残る緑地などの自然や歴史的資源を守りながら、自然環境に恵まれた快適な生活空間と安心・安全な地域づくりを進めます。

■ 主な事業

2 章

- 小中学校校舎耐震改修事業
- 小中学校校屋内運動場大規模改修事業
- 八千代市中央図書館・市民ギャラリー整備事業
- 総合グラウンド建設事業

3 章

- 焼却炉施設基幹的設備改良事業
- 最終処分場活用事業

4 章

- 準用河川高野川改修事業

5 章

- 鉄道駅エレベーター等整備助成事業
- 都市計画道路3・4・1号新木戸上高野原線整備事業
- 辺田前土地区画整理地内近隣・街区公園整備事業
- 県立八千代広域公園建設の整備促進
- 宮内水管橋更新事業

【地域の概要】

地域の範囲	村上、村上南、下市場、 上高野の一部、村上団地	
面積	6.2 km ²	
人口 (平成21年度末)	33,813 人	
将来人口 (平成27年度末)	37,800 人	
世帯数 (平成21年度末)	13,402 世帯	
将来世帯数 (平成27年度末)	16,600 世帯	
主な道路	国道16号、国道296号	
公園・主な緑地	村上緑地公園、村上第一公園、村上中央公園、村上神明公園、街区公園(26か所)、黒沢池市民の森ほか緑地(9か所)	
主な施設	<p>[市役所・消防・警察]: 村上支所、村上駅前交番</p> <p>[教育・文化施設]: 郷土博物館、学校給食センター村上調理場、学校給食センター村上第二調理場、村上公民館、多文化交流センター</p> <p>[福祉施設]: 保育園(3園)、村上地域包括支援センター、美香苑</p> <p>[学校施設]: 幼稚園(4園)、小学校(3校)、中学校(3校)、高等学校(3校)</p> <p>[その他の施設]: 清掃センター、村上給水場、村上第1汚水中継ポンプ場、村上第2汚水中継ポンプ場、村上駅、東葉勝田台駅</p>	
特色ある地域資源	木造釈迦如来立像(県指定文化財)、村上の神楽、正覚院釈迦堂、宝篋印塔、七百余所神社古墳、根上神社古墳、イヌザクラ(天然記念物)、ガキ大将の森、新川周辺の水辺空間	

3. 睦地域

(1) 地域の特性と課題

本地域は市の北西部、新川の西側に位置しており、自然環境保全ゾーンの中にあります。

地域には新川、神崎川、桑納川が流れ、その周辺は水田地帯が里山まで広がるなど、水と緑に囲まれた豊かな自然があります。

水田の周辺や主要地方道船橋・印西線沿いには古くから集落が形成され、北部の大学周辺には学園都市として開発された新たな住宅地が広がり、南部には吉橋工業団地を有し、大規模な土地区画整理事業が行われています。

地域の総人口は、南部で行われている土地区画整理事業の進展により増加することが見込まれており、今後、吉橋地区での人口増加に応じた行政ニーズへの対応が必要です。地域住民の年齢構成としては、老年人口の割合が多い状況にあります。

また、古くからの集落部における生活基盤整備、新旧住民の交流や地域としてのまとまりなども視野に入れた中核的コミュニティ施設の整備なども課題となっています。

(2) 地域づくりの方針

新川をはじめとする水辺環境やそれに沿った優良な水田地域など、豊かな自然・田園環境を維持・保全していくことを基本に、農業の振興と農地の保全・活用に努めます。

また、やちよふれあいの農業の郷を、新川対岸の八千代ふるさとステーションと一体的施設として整備することで、地域の活性化を図ります。

そのほか、西八千代北部土地区画整理事業の推進と集落部における生活の利便性向上、市街地における住環境の維持・保全を図るほか、地域のコミュニティづくりのための施設の充実に努めます。

■ 主な事業

1章

第二斎場建設事業 / 墓地運営管理事業

2章

小中学校校舎耐震改修事業

3章

急傾斜地崩壊対策事業

5章

西八千代北部特定土地区画整理地内近隣公園建設事業 / 西八千代配水管及び送水管布設事業

西八千代北部地区公共下水道事業(汚水・雨水) / 西八千代北部特定土地区画整理事業

北部地域生活支援バス運行事業

6章

水田再基盤整備事業 / やちよふれあいの農業の郷整備事業

【地域の概要】

地域の範囲	桑納、麦丸、桑橋、吉橋、尾崎、島田、神久保、小池、真木野、佐山、平戸、島田台、大学町	
面積	14.6 km ²	
人口 (平成21年度末)	6,874 人	
将来人口 (平成27年度末)	10,000 人	
世帯数 (平成21年度末)	2,613 世帯	
将来世帯数 (平成27年度末)	4,400 世帯	
主な道路	国道16号、主要地方道船橋・印西線	
公園・主な緑地	熱田ヶ池公園、桑納川公園、街区公園(3か所)、緑地(2か所)	
主な施設	[市役所・消防・警察]: 睦連絡所、睦分署(消防)、睦駐在所 [教育・文化施設]: 睦公民館、睦スポーツ広場 [福祉施設]: 保育園(1園)、小池更生園、作山更生園、友愛みどり園、ビックハート、愛生苑 [学校施設]: 小学校(1校)、中学校(2校)、高等学校(2校)、大学(1校)、特別支援学校(1校) [その他の施設]: 睦浄水場、市営霊園	
特色ある地域資源	佐山の獅子舞、吉橋城跡、旧睦村道路元標、佐山熱田ヶ池、新川・桑納川周辺の水辺空間、石神谷津	

4. 大和田地域

(1) 地域の特性と課題

本地域は市のほぼ中央部、新川の西側にあり、既成市街地ゾーンと新市街地ゾーンのほぼ中央に位置しています。

地域の東部には水田や八千代総合運動公園があり、新川の水辺空間に恵まれた緑豊かな自然が残されています。

地域の中央部には東葉高速線の八千代中央駅を中心とした新しい市街地が形成されており、地域の南部には京成本線の京成大和田駅を中心とした既成市街地が広がっています。国道296号沿いには「成田道(なりたみち)の宿場」の面影があり、新しい街並みと古い街並みが共存する地域となっています。

また、地域の北部にはゆりのき台と斜面林を隔てて八千代工業団地があるなど、多彩な街並みを形成しています。

本地域は市役所、市民会館、総合生涯学習プラザや八千代医療センターなどの公共公益施設が集中しています。

地域の総人口は、東葉高速線の開通以来増加を続けており、地域住民の年齢構成としては、年少人口の割合が多く、老年人口の割合が少ない状況にあります。

本地域は、都市的未利用地や古くからの住宅地の計画的な市街地形成への規制・誘導や、国道296号の慢性的な交通渋滞対策なども課題となっています。

(2) 地域づくりの方針

国道296号の慢性的な交通渋滞の解消や、地域の主要な生活道路について人優先の安全を重視した整備を図るとともに、既成市街地における公共施設の老朽化に対応した施設整備を進めます。

また、文化・スポーツ施設が集積する文化およびレクリエーションの中心的役割を担う地域として、人・自然・文化がふれあう地域づくりを進めます。

■ 主な事業

1 章

医療センター整備事業

2 章

小中学校校舎耐震改修事業 / 市民会館リニューアル整備事業

5 章

都市計画道路3・4・6号八千代台花輪線整備事業

都市計画道路8・7・2号西八千代向山線整備事業

県立八千代広域公園建設の整備促進 / 大和田駅南地区土地区画整理事業

【地域の概要】

地域の範囲	大和田、萱田、萱田町、ゆりのき台、大和田新田の一部	
面積	7.3 km ²	
人口 (平成21年度末)	48,247 人	
将来人口 (平成27年度末)	53,500 人	
世帯数 (平成21年度末)	18,596 世帯	
将来世帯数 (平成27年度末)	21,500 世帯	
主な道路	国道296号、県道大和田停車場線	
公園・主な緑地	八千代総合運動公園、萱田地区公園、飯綱近隣公園、街区公園(54か所)、緑地(10か所)	
主な施設	<p>[市役所・消防・警察]: 市役所、教育委員会、中央消防署、上下水道局、八千代警察署、大和田駅前交番、八千代中央駅前交番</p> <p>[教育・文化施設]: 教育センター、青少年センター、大和田図書館、市民体育館、総合運動公園野球場、市民会館、文化伝承館、総合生涯学習プラザ、大和田公民館</p> <p>[福祉施設]: 保育園(2園)、福祉センター、子ども支援センターすてっぷ21大和田、障害者福祉センター、シルバー人材センター</p> <p>[学校施設]: 幼稚園(2園)、小学校(5校)、中学校(2校)</p> <p>[その他の施設]: 保健センター、急病センター、東京女子医科大学八千代医療センター、農業研修センター、市民活動サポートセンター、衛生センター、萱田浄水場、八千代市農業協同組合、大和田駅、八千代中央駅</p>	
特色ある地域資源	京成バラ園、飯綱神社本殿・拝殿・玉垣・参道石段・玉垣彫物・鐘楼・雨乞い祈禱の絵馬・神馬の絵馬、新川わくわくプレーパーク	

5. 高津・緑が丘地域

(1) 地域の特性と課題

本地域は市の中西部、既成市街地ゾーンと新市街地ゾーンの両ゾーン内の西側に位置しています。

地域の殆どが市街地となっており、一部に残る農地等が貴重な緑地空間を提供しています。

地域の北部には東葉高速線が走り、八千代緑が丘駅周辺は、大規模店舗や高層マンションなどが建設され、新しい市街地が形成されています。

東葉高速線は、市の中央を抜け東京都心へ直結しており、この八千代緑が丘駅は本市の西の玄関口となっています。

地域の中央部には高津団地を中心とした市街地のほか、古くからある集落や土地区画整理事業により誕生した新しい住宅地があります。

また、地域の南部には陸上自衛隊習志野演習場があります。

地域の総人口は、地域の北西部で行われている大規模な土地区画整理事業により、今後も増加が見込まれており、地域住民の年齢構成としては、年少人口の割合が多く、老年人口の割合が少ない状況にあります。

本地域は、都市的未利用地の計画的な市街地形成への誘導が必要であり、国道296号の慢性的な交通渋滞対策なども課題となっています。

(2) 地域づくりの方針

土地区画整理事業などの活用により、緑豊かで計画的な市街地形成を図るとともに、都市計画道路の整備を促進し国道296号の交通渋滞を解消するなど、交通環境の改善に努めます。

また、商業の振興、地域内に残る緑地などを活かした歩行空間等の形成による自然環境の保全に努め、人が集まり賑わいのある地域づくりを進めます。

■ 主な事業

2 章

小中学校校舎耐震改修事業 / 小中学校校屋内運動場大規模改修事業
(仮称)学校給食センター西八千代調理場整備事業

4 章

消防水利整備事業

5 章

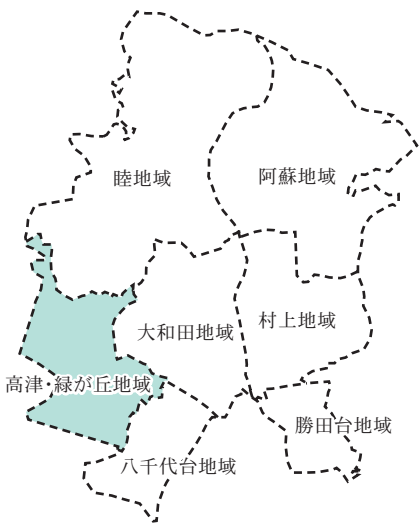
都市計画道路 3・4・1 号新木戸上高野原線整備事業

都市計画道路 8・7・2 号西八千代向山線整備事業

西八千代北部特定土地区画整理地内近隣公園建設事業 / 西八千代配水管及び送水管布設事業

西八千代北部地区公共下水道事業(汚水・雨水) / 西八千代北部特定土地区画整理事業

【地域の概要】

地域の範囲	高津、高津東、緑が丘、大和田新田の一部、高津団地	
面積	6.2 km ²	
人口 (平成21年度末)	41,919 人	
将来人口 (平成27年度末)	46,400 人	
世帯数 (平成21年度末)	16,486 世帯	
将来世帯数 (平成27年度末)	20,000 世帯	
主な道路	国道296号、主要地方道船橋・印西線、主要地方道千葉・鎌ヶ谷・松戸線	
公園・主な緑地	スポーツの杜公園、街区公園(27か所)、高津小鳥の森ほか緑地(11か所)	
主な施設	[市役所・消防・警察]: 高津支所、高津交番、八千代緑が丘駅前交番 [教育・文化施設]: 緑が丘図書館、高津公民館、緑が丘公民館 [福祉施設]: 保育園(4園)、高津・緑が丘地域包括支援センター、第3福祉作業所 [学校施設]: 幼稚園(4園)、小学校(5校)、中学校(2校) [その他の施設]: 高津浄水場、八千代緑が丘駅	
特色ある地域資源	なりたみちの道標、高津のハツカビシヤ、高本入口の庚申塔、石亀池	

6. 八千代台地域

(1) 地域の特性と課題

本地域は市の南西部、既成市街地ゾーンの南西部に位置しています。

地域のすべてが市街地となっており、市民の森などの保全林が貴重な緑地空間を提供しています。

この地域は、千葉市と習志野市に隣接しており、地区内を二分するように、都心と成田国際空港を結ぶ京成本線が走り、八千代台駅を中心として、東・西・南・北の4地区で形成されています。

八千代台は昭和31年の八千代台駅の開業を機に日本初の住宅団地が開発された以降、駅を中心に住宅地の造成が進むとともに、商業においても昭和40年代に入ると百貨店やスーパーマーケット等が立地するなど、市の商業の中心的な存在として発展を遂げてきたところです。しかし、開発からすでに40年以上が経過しており、地域の再生が必要となっています。

地域の総人口は、減少傾向にあり、地域住民の年齢構成としては、生産年齢人口の割合が少なく、老年人口の割合が多い状況にあります。

本地域は、総人口の減少をゆとりある都市空間の創出に結びつけるなどの新たな発想を持ったまちづくりに取り組む必要があります。

また、不足する幹線道路の整備促進や鉄道交差部の立体化などによる交通環境の改善も大きな課題となっています。

(2) 地域づくりの方針

地域の中心となる八千代台駅周辺の商業地域において、商店街の活性化を図るとともに、これに隣接する住宅地においては、既存の都市基盤の機能維持に努めます。

また、高齢者にやさしい歩行空間の確保のため、道路のバリアフリー化を促進するとともに、市民の森や子供の森など市街地においての貴重な緑の維持・保全を図るなど、快適な都市空間の創造に向けた地域づくりを進めます。

■ 主な事業

2 章

八千代台東小学校校舎改築事業 / 小中学校校舎耐震改修事業

小中学校校屋内運動場大規模改修事業

5 章

都市計画道路 3・4・6 号八千代台花輪線整備事業

都市計画道路 3・4・12号八千代台南勝田台線整備事業 / 八千代台北子供の森用地取得事業

【地域の概要】

地域の範囲	八千代台東、八千代台南、八千代台西、八千代台北	
面積	3.3 km ²	
人口 (平成21年度末)	34,515 人	
将来人口 (平成27年度末)	33,900 人	
世帯数 (平成21年度末)	15,221 世帯	
将来世帯数 (平成27年度末)	16,100 世帯	
主な道路	県道幕張八千代線	
公園・主な緑地	八千代台近隣公園、街区公園(24か所) 八千代台北子供の森、八千代台北市民の森、八千代台西市民の森、八千代台東子供の森ほか緑地(1か所)	
主な施設	<p>[市役所・消防・警察]: 八千代台支所、八千代台東南支所、八千代台分署(消防)、八千代台駅前交番、八千代台東交番</p> <p>[教育・文化施設]: 八千代台図書館、八千代台近隣公園小体育館、八千代台文化センター、八千代台東南公共センター、男女共同参画センター、八千代台公民館、八千代台東南公民館、適応支援センターフレンド八千代</p> <p>[福祉施設]: 保育園(5園)、八千代台地域包括支援センター</p> <p>[学校施設]: 幼稚園(4園)、小学校(4校)、中学校(2校)</p> <p>[その他の施設]: 八千代台浄水場、八千代台駅</p>	
特色ある地域資源	野馬追いの土手、高津新田のカラスビシャ、住宅団地発祥の地八千代台団地	

7. 勝田台地域

(1) 地域の特性と課題

本地域は市の南東部、既成市街地ゾーンの東側に位置しています。

地域の南部には勝田川が流れ、周辺には水田が広がっています。水田から続く斜面林が里山を形成し、水田の周辺部には古くからの集落があり、豊かな田園風景を醸し出しています。

地域の北部には、京成本線の勝田台駅と東葉高速線の東葉勝田台駅があるなど交通の要衝となっています。

この地域は、千葉市と佐倉市に隣接し、昭和43年の勝田台駅開業とともに誕生した勝田台団地を中心とした市街地が形成されており、勝田台駅南口周辺地域は、「みずき通り」をメインとした商業集積エリアが広がっています。

地域の総人口は、減少傾向にあり、地域住民の年齢構成としては、生産年齢人口の割合が少なく、老年人口の割合が多い状況にあります。

本地域は、総人口の減少をゆとりある都市空間の創出に結びつけるなどの新たな発想を持ったまちづくりに取り組むことが必要です。

また、地域の大部分においては計画的な基盤整備による良好な住環境が形成されており、現在の環境が阻害されないように維持するとともに、南部に残されている自然環境を保全することが課題となっています。

(2) 地域づくりの方針

計画的に整備された住宅地について、今後とも良好な住環境として維持・保全するとともに、勝田台駅を中心とした商業地域において、商店街の活性化を図ります。

さらに、地域交流促進のための公園整備や市街地の道路整備など、都市機能の充実に努めます。

また、地域南部の田園風景が守られるよう市街化を抑制するなど、ゆとりある住宅と自然環境が調和した地域づくりを進めます。

■ 主な事業

1 章

学童保育事業

2 章

小中学校校舎耐震改修事業

4 章

勝田川改修事業 / 交通安全施設整備事業

5 章

勝田台中央公園整備事業

【地域の概要】

地域の範囲	勝田台、勝田、勝田台南	
面積	2.5 km ²	
人口 (平成21年度末)	16,439 人	
将来人口 (平成27年度末)	16,100 人	
世帯数 (平成21年度末)	7,011 世帯	
将来世帯数 (平成27年度末)	7,500 世帯	
主な道路	国道16号	
公園・主な緑地	勝田台中央公園、街区公園(11か所)、勝田市民の森、 八勝園市民の森ほか緑地(2か所)	
主な施設	[市役所・消防・警察]: 勝田台支所、勝田台分署(消防)、勝田台交番 [教育・文化施設]: 勝田台図書館、勝田台文化センター、勝田台公民館 [福祉施設]: 保育園(1園)、子ども支援センターすてっぷ21勝田台、ファミリーサポートセンター、勝田台地域包括支援センター [学校施設]: 幼稚園(3園)、小学校(2校)、中学校(1校)、高等学校(1校) [その他の施設]: 勝田台浄水場、勝田台駅	
特色ある地域資源	勝田川周辺の水辺空間、勝田の獅子舞	